

6月定例会の概要

平成29年6月定例会を、6月9日から28日まで開催しました。

定例会初日、市長から、市民がより使いやすく、集いやすい地域コミュニティの拠点施設とするため、小ヶ倉地区及び深堀地区の公民館を廃止し、それぞれ、小ヶ倉地区ふれあいセンター及び深堀地区ふれあいセンターを設置すること、既存の長崎市ダイヤランド・小ヶ倉ふれあいセンターの名称を長崎市ダイヤランドふれあいセンターに改めるための「長崎市ふれあいセンター条例及び長崎市公民館条例の一部を改正する条例」や、土井首地区、木鉢地区及び晴海台地区のふれあいセンターの管理を行う指定管理者の指定に関する議案などについて、提案理由の説明がなされました。

14日から16日までと19日は、一般質問を行い、各会派合わせて18名が登壇しました。(詳細はP2下段〜P5)

20日からは、常任委員会において付託された議案について審査を行いました。(詳細はP6)

23日は「新市庁舎建設事業について」及び「新市庁舎建設に係る周辺道路の交通対策について」、総務委員会と建設水道委員会の連合審査会を開催し、所管事務調査を行いました。

委員会では、新市庁舎建設基本設計業務委託に係る受注者選定の審査結果や、今後の事業全体のスケジュール、さらに、新市庁舎の周辺道路の交通対策などについての説明を受け、委員からは、事業費が当初の計画よりさらに増加する可能性の有無や、公用車の駐車場整備の考え方などについて質疑が行われました。

26日には、長崎駅周辺再整備、観光客受入対策、雇用・人口減少対策の3つの特別委員会を開催し、それぞれ、「長崎駅周辺のまちづくりについて」、「夜景観光の取り組みについて」、「企業誘致の推進について(現地調査含む)」の調査を行いました。

定例会最終日の28日は、各常任委員会の委員長から議案審査の報告を行い、採決の結果、市長提出議案(原案可決18件、同意3件、報告10件)と議員提出議案1件(可決)を議決しました。

(詳細はP7)



▲連合審査会の様子

一般質問

明政クラブ

地域コミュニティのしくみづくり

問 (仮称)地域コミュニティ連絡協議会二構想について、今後の方向性を伺いたい。

答 現在、地域コミュニティの新しいしくみとして、地域を代表する(仮称)地域コミュニティ連絡協議会を組織していただき、長崎市が人、拠点、資金の3つの視点で応援していくしくみを検討しており、市内17カ所において説明会を開催した。

今後は、おおむね小学校区ごとに改めて説明を行った後、協議会を立ち上げようという地域に積極的に入り、実情に合わせて立ち上げを支援するとともに、交付金や拠点などのしくみづくりや、まちづくりを支援する職員の育成などについても進めていく。



創造都市ネットワーク日本への加盟

問 これまでも加盟について提案してきたが、検討状況を伺いたい。

答 文化庁では、文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興などに活用し、地域課題の解決に取り組む自治体を「文化芸術創造都市」と位置づけている。

長崎市では、「長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「長崎市歴史文化基本構想」の策定、観光立国ショーケースへの選定など、長崎市の強みである「歴史文化」の個性を磨き上げるための仕組みが整いつつある。

今後、さまざまな分野の文化と観光の融合など広く可能性を探りながら、早期加盟に向けた具体的な取り組みを進めたい。

グラバー園年間パスポートの導入

問 出島やペンギン水族館などは年間パスポートを販売し、リピーターの確保に努めている。グラバー園でも販売する考えはないのか。

答 グラバー園では多くの皆様に来園していただけるよう、年間を通じて四季折々のイベントや催しを開催している。そこで、観光客にとどまらず、市民の皆様にも気軽に来園していただきたいと考え、毎年、市民無料入園月間を設けている。